

# [第 115 回藤樹人間学塾のご案内]



皆さま

令和3年5月

NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和3年6月5日(土) 15時～17時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89)
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」  
テキスト 中江藤樹著・西晋一郎通釈『中庸解・通釈』第 25 章 p.324～  
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)



いつもありがとうございます。

本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

5月9日(日)午後、第114回藤樹人間学塾を開きました。コロナ対策を十分にしていきました。

まず「実践人2021.5号」で森信三先生が「行わなければ知ったといえない」と述べられている話をしました。これは、陽明学の考え方です。

今回は『中庸解』第24章です。大意について次の様に説明しました。「至誠の道は、およそ天下の事も前もって知ることができる。国家がまさに興らんとするような時は必ず福の兆しが見える。国家まさに滅びようとする時には禍の萌しが見える。占いの結果に表れ、その人の行動にも現れる。常人は欲心のため心眼暗くしてこれを察知できないけれど、至誠なるものは公平無私にして心眼が明るいので禍福のまさに至らんとするとき、善道があれば必ず吉祥があって福となり、不善があると必ずわざわいの萌しがあって禍となることを知る。ゆえに至誠は神のようなものである」。

今回は、「致知2021.4号」で京セラ創業者の稲盛和夫氏が母校の高校生に講演された「未来を生きる君たちへ～君の思いは必ず実現する」を配りました。その中で「思うということが、人間のすべての行動の源、基本になっている」、「自分だけよければよいという利己的で邪な心をなるべく抑え、思いやりに溢れた美しい利他の心が自分の心の大部分を占めるように、心の庭を手入れしなければなりません」、「人間誰も純粹で美しい思いを心に強く抱き、一所懸命に努力しさえすれば必ず実現できるということを、神様は約束してくださっています」などを紹介しました。

フリートーキングやアンケートで、参加者からは「地球温暖化の進行は地球が滅びようとする禍の萌しだと思う」、「思いを持つことの大切さを学ぶことができた」、「スポーツ少年団の指導を25年やっているが、自他の幸せを半々に考えてやってきて、人生が面白いと思っている」等の意見、感想をいただきました。

私からは「優れた先人や経営者は物事を予知するだけでなく、藤樹先生や森信三先生そして稲盛和夫氏のように良いと思ったことはどんどん実践されています。私たちも行わなければ知ったといえないことをしっかり認識して良いことを実践しましょう」と述べました。

学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。